

# 県社会人選手権2連覇

## JFL昇格に向け、第一関門を突破



左からSCの鈴木(健)、森谷、齋藤、船越選手

第29回神奈川県社会人サッカー選手権大会(兼全国社会人サッカー選手権・県予選)の決勝が3月21日、横浜市の保土ヶ谷公園サッカー場で行われ、SC相模原(望月重良代表)が5-1で圧勝。大会2

を決めた。決勝の相手は、県社会人1部リーグ昨年優勝の日本工学院FMリノス。SCは守護神GK榎本を欠き、序盤に先制されるなど、不安視もされたが、終わってみればSCの大差勝ちで、あらためてJリーグ準加盟チームの強さが際立った試合となった。今年加入した194cmの大型FW船越(前東京ヴェルディ)、闘志あふれるSCのゴールハンターFW齋藤、昨年SC得点王のFW森谷のFW陣が、きつちりと仕事をし3得点。SCの司令塔MF坂井、MF富井、DF井上などの活躍も目立った。

SC相模原は、県社会人代表として7月の全国社会人サッカー選手権・関東予選に出場。昨年は関東1部リーグのYSCCに2回戦で敗れ、全国大会出場を逃した。関東予選は各都県代表と関東リーグ所属チームが出場。6ブロックに分かれてトーナメント戦を行い、各ブロック優勝チームが全国大会(10月)の代表となる。全国大会の優勝チームは、12月の全国地域リーグ決勝大会に出場でき、この上位2チームがJFLに昇格する。SCが勝ち続けられ、年内にJFL昇格が決まることになる。

なお、4月14日(水)13時30分、青山学院大学とテストマッチ、25日(日)10時~16時、FCと県1部リーグ初戦がある。会場は両試合とも麻溝公園競技場。入場無料。みんな応援に行こう! 問い合わせはSC相模原事務所 ☎042(810)7777。

# 青少健 相模が丘で 防犯パトロール

相模中学校区青少年健全育成連絡協議会(略称・青少健)の安心安全防犯パトロールが3月20日午後6時から、座間市相模が丘地区で行われた。

青少健の防犯パトロールは年2回、春休み前と夏休み前にあり、30年ほど続いている。この日は自治会や学校関係者、青少年の健全育成に関わる団体など約120名が、



北地区文化センター前に集まった青少健のみなさん

# ふれあい伝言板

### ■絵手紙三人展

4月13日(火)~25日(日)9時30分~16時、県立相模原公園グリーンハウス・グリーンギャラリーで。日本絵手紙協会公認講師の福田聖子さん、設楽紀美子さん、大角幸子さんの作品展。25日(日)に体験教室あります(参加費100円)。グリーンハウス入館料は一般200円。

### ■役立つ「お葬式セミナー」

4月29日(祝)13時30分~15時30分、東林ふれあいセンターで。NPO法人全国葬送支援協議会主催のお葬式に関する正しい情報や最新情報を提供するセミナー。テーマは「お布施と戒名について」。参加無料、電話予約先着50名。申込み☎協賛会(ふじみ式典内)0120(64)7764。

### ■コーラス720団員募集

今年の東林サマーコンサートは6月13日(日)です。実行委員会では同コンサートに出演する混声合唱団『コーラス720』のメンバーを一般から募集します。歌いたい方、合唱を始めたい方は気軽に参加を。参加費300円、楽譜代1050円。練習は5月22日、29日、6月5日、12日の15時~17時、東林公民館で。4月21日~受付開始。申込み☎東林公民館 ☎042

# サークル広場

— 生涯学習 —

## 東林めだかの学校



会員は40代から最高齢98歳で、41名(女性25、男性16)。定期的な学習は月2回、原則第1、3土曜日の10時~12時、おもに東林公民館で行う。出席率は8割を超え、今年も9名が皆勤賞だという。また、老人ホームでの朗読ボランティア、東林男ボラの木曜喫茶応援、学童見守り活動、東林文化祭への参加など、地域とのかかわりにも積極的だ。

同校では毎年3月、卒業式でなく「留年式」を行う。誰一人、卒業の道を選ばず、もっと学びたい、卒業したくないという理由で、留年式が恒例となった。

学習内容は日本語を学ぶこと。話す・聴く・読む・書くことを学び、地域の中で仲間をつくり、地域活動に活かそうというもの。実行委員長の佐藤肇さんは、「こんなに楽しい学びの場はどこにもない。一番の生きがいです」とキッパリ。みなさんも同じ思いらしく、今年も無事、全生徒が留年した。

平成19年4月、生涯学習のサークルとして開校。前身は平成16年の東林公民館主催「話し方教室」で、17年の「東林ふれあい塾」、18年の「めだかの学校」を経てサークルとなった。話し方教室から講師を続けるのは、元NHKアナウンサーの飯田白馬さん(相南在住)。

飯田さんは「時には先生に、時には生徒になって楽しく、面白く、真剣にふれあい、学ぶ。私も生徒で、ちゃんと会費をはらっています」と笑う。「40人も好きな人ができちゃったんで、やめられないんで(744)0087。

### ■北市民セミナー『江戸時代の人間模様』

5月14日(金)、27日(木)、6月3日(木)、8日(火)の全4回、13時30分~15時30分、北地区文化センターで。対象は座間市在住・在勤者。受講無料。江戸中期から幕末にかけての女性や幕臣たちの人間模様を、放送作家や歴史研究家から学ぶ。5月1日~受付開始。申込み☎北地区文化センター ☎042(747)3361。

### ■花とみどりの講座

5月15日~12月18日までの第3土曜日(11月のみ第3木曜)全7回、14時30分~16時、東林公民館などで(日時を変更する場合もあります)。対象は館区内在住・在勤者先着24名。参加費3千円。野菜、草木、花の育て方を学ぶ講座です。4月23日~受付開始。参加費を添えて公民館窓口で申込み(電話不可)。問合せ☎東林公民館 ☎042(744)0087。

### ■子育てわくわく学級

5月21日~7月16日までの毎週金曜日(全9回)10時~11時45分、

# ASAのベルマーク運動

ASAイワサキグループでは、読者の皆様からお預かりしたベルマークを近隣の学校に届けていきます。3月15日、25名分のベルマークをくぬぎ台小PTAに寄贈しました。今後もご協力をお願いします。

# 第14回 理解力をつける

## 「親と子」の親子講座

### — 椋木修三 —

行動主義心理学の主唱者であるアメリカの心理学者ワトソンは、私の記憶に間違いがなければこう言ったと聞いています。「私に子どもを預ければ、思い通りの人間に育てることができると。はたして本当にそのようなことができるのでしょうか? そもそも人間の内面を変えていくことは困難なことですよ。そこでワトソンは内面を変えることが困難なら、「行動」すなわち「形」から変えていけばいいと考えたわけです。もちろん、行動心理学はそのような単純なものではありませんが、簡単に言えばそういうことなのです。

これを子育てに応用できないものでしょうか。すなわち、「なぜ勉強しないの?」「子どもに勉強力をつける

「形」を作ってやればいいのです。たとえば、勉強に欠かせない「理解力」をつけさせるための一つの方法を紹介しましょう。子どもに昔話や絵本の読み聞かせをされる方もいらっしゃると思いますが、少し子どもに知恵がついてきたらただ本を読んであげるだけでは面白くありません。こうするのです。

「昔々あるところに、おじいさんとおばあさんが住んでいました。おじいさんは山へ芝刈りに、おばあさんは川で洗濯をしていました。おばあさんが川で洗濯をしていると回ころから、どんぶらこどんぶらこ大きな桃が流れてきました…」と

いこうか話を途中で止めるのです。そして「えい、この桃は(おさき)うなっ たんだらうね。」と子どもに問うてみるのです。すると子どもはあれやこれや、いろいろと想像します。「この桃をみんで食べたよ」とか、「この桃を蹴って遊んだよ」とかいろいろと答えます。その答えがあっているといまいと関係ありません。大切なのはこの「想像すること」なのです。なぜなら、理解ができるかできないかの差は、頭の中で想像できるかできないかにかかってくるからです。そもそも人の話を聞いて理解できないという場合、頭の中で想像(イメージ化)できていないからです。ですから、本を途中で止めて子どもに想像させることは子どもの想像力を高めるだけでなく、理解力をも高めることになるのです。こうすると、学校で先生の話がわからないとか授業についていけないといったことはまずなくなります。お試しください。